

8. 20広島土砂災害からの復興に向けて

1. はじめに

平成26年8月20日の未明に広島市で最大時間雨量が121mm、2時間30分間での雨量が235mmと記録的な降雨を観測しました。この集中豪雨により土石流107渓流、がけ崩れ59箇所の土砂災害が発生し、死者74名、被害家屋数4,500棟以上の甚大な被害をもたらしました。

本県では、発災直後から国・市と連携を図り、土砂災害発生箇所の復旧に向けた取組みを進め、平成26年12月には「8.20土砂災害 砂防・治山に関する施設整備計画」を策定し、被災地の一日も早い復旧・復興に向け、緊急的な砂防堰堤等の整備に努めるとともに、被災者の生活支援についても全力で取り組んでいるところです。

この土砂災害にあたり、被災直後より全国のみなさまのご支援、ご助力をいただき心から感謝申し上げます。

2. 現状と課題

本県は豊かで美しい自然に恵まれている反面、県土のおよそ7割を山地が占め、限られた平地での経済活動は土地利用の高度化、多様化を余儀なくされています。

また、高度経済成長期における都市部への人口流入に伴い、市街地近郊における山麓部分の宅地開発等が急激に進んできました。その結果、土石

流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所及び地すべり危険箇所をあわせた土砂災害危険箇所は、全国で最多の約32,000箇所となっています。

さらに、広島県の地質は風化花崗岩が広範囲に分布しているため、風化しやすく、水を含むと強度低下が著しいため、本県の土砂災害は後を絶たない状況にあります。本県では、県土を保全し、土砂災害から県民の生命、財産等を守るため、土砂災害防止施設の整備の推進が大きな課題となっています。これらの施設整備については、土砂災害危険箇所も多く、施設整備に相当の時間と費用を要することから、整備水準は未だ30%程度にとどまっています。近年の公共事業予算の削減により、防災上必要とする重要な社会資本整備を着実に実施することが厳しい状況が続いています。

3. 防災・減災に資する社会資本整備の促進

国においては、「強くてしなやかな国づくり」を目指して平成25年12月に国土強靭化基本法を施行し、国土強靭化に向けた取組みを関係省庁が横断的に、また地方公共団体や民間とも連携して、総合的に推進することとされています。

一方、本県では、平成23年に「社会資本未来プラン」等を定め、「防災・減災対策の充実・強化」を7つの重点化方針の一つとして位置付け、災害に強い県土づくりを実現するため、計画的に社会

広島県知事 **湯崎 英彦**



資本整備を進めているところです。引き続き、「安心な暮らしづくり～防災・減災」に向けて、土砂災害対策の推進に取り組んでいくうえで、財政健全化の取組みを着実に推進しつつ、新たな災害対応の構築や地域ニーズの反映を行いながら、本県の「弱み」を克服し、「強み」を最大限に活かす施策を効率的かつ効果的に展開していく必要があります。また、既存施設についても適正な維持管理を行いながら、その機能を最大限活用していく必要があります。

4. 土砂災害警戒区域等指定の加速化

昭和42年の広島県の呉市周辺を襲った豪雨災害は、「急傾斜地法」制定の契機となり、広島県南西部を中心に深刻な被害をもたらした平成11年6月29日の豪雨災害は「土砂災害防止法」が制定されるきっかけとなりました。

また、平成26年8月20日の土砂災害を契機に、土砂災害防止法の一部改正（27年1月18日施行）が行われ、基礎調査が終わった段階で調査結果を公表することが義務付けられました。本県においては、全国に先駆けて、被災後の9月3日から県のホームページで基礎調査結果の公表を行い、土砂災害の危険性を広く県民に周知することで、土砂災害警戒区域等の指定の促進を図ることにしています。

土砂災害警戒区域等の指定については、平成27年3月末時点で、土砂災害警戒区域は13,605箇所、土砂災害特別警戒区域は11,916箇所の指定が完了しておりますが、県全体で約32,000箇所の土砂災害危険箇所があるため、指定率は約42.5%に留まっております。今回の災害を踏まえて、全県の基礎調査を平成30年度末までに、区域指定を平成31年度末までに完了させる目標を設定し、全力で取り組んでいきます。

5. おわりに

これまで行政が中心となって進めてきたハード、ソフト両面での総合的な防災・減災対策をこれまで以上に強力に進めていくことに加え、災害時の被害を最小限に抑えるためには、県民・企業・防災関係機関・行政が相互に連携し、一体となって取り組むことが必要であります。そのため、「災害死をゼロにする」という新しい目標を掲げ、全国に先駆けて県民をはじめ多様な主体が協働・連携した「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を展開することとし、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の基本理念である『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える災害に強い広島県の実現に向けて「安心な暮らしづくり」を目指して取り組んでいきます。引き続きみなさまのお力添えをお願いいたします。